

令和4(2022)年度 資源評価調査状況報告書(新規拡大種)

ブロック：中央ブロック

コノシロ

海域	太平洋中・南部	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場、徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課、大分県農林水産研究指導センター 水産研究部
----	---------	------	--

(1) 調査の概要

- ・漁業・養殖業生産統計年報が利用可能である。太平洋中区での漁獲が多く、近年は増加傾向である
- ・大分、徳島、静岡、神奈川、千葉の各県において、漁獲量等の収集を実施することが可能である
- ・千葉県では沿岸重要水産資源として本種(東京湾)の資源評価が実施されている

(2) データ収集状況

- ・2021年における太平洋中区の漁獲量は1,795トン。その内で千葉県が最も多く、1,502トンである
- ・千葉県(東京湾)の沿岸重要水産資源令和3年度資源評価(千葉県2022)では、東京湾千葉県側における漁獲量を基準にして、2019年の水準を高位、動向を増加と評価している
- ・太平洋中・南部においては水産資源研並びに都県による卵稚仔調査が実施され、2019年～現在までの広域データが取りまとめられている

(3) 生物学的特性

- ・東京湾のコノシロについて、「東京おさかな図鑑 東京湾の魚」(東京都島しょ農林水産総合センター <https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/archive/27,951,55,226.html>)に基づき、以下を記載した
- (1) 分布・回遊：水深15m以浅の沿岸や河口の汽水域に生息する。春～秋季には河口付近および河川内の浅所に生息するが、冬季には外洋に近い湾口部の比較的深部に移動する
- (2) 年齢・成長：1年で体長10cm前後、2年で約15cm、3年で約20cm
- (3) 成熟・産卵：満1歳で成熟する。産卵期は春～初夏。産卵場は内湾域にある。卵は球形で直径1.5mm前後。ふ化仔魚の体長は3～4mm前後である
- (4) 被捕食関係：雑食性で、植物および動物プランクトンを捕食する

(4) 備考

- ・特になし

引用文献

千葉県 (2022) 千葉県 沿岸重要水産資源 令和3年度資源評価 コノシロ (東京湾)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/documents/02-r3konoshiro.pdf>